

CSR行動原則

5

透明性の高い 開かれた事業活動

関西電力グループは、事業活動に社会の声を的確に反映させるとともに、適時的確な情報公開・発信や、社会のみなさまとのコミュニケーションの一層の推進により、事業運営における公正さを確保し、社会に対する説明責任を誠実に果たすことを通じて、透明性の高い開かれた事業活動を行います。



ステークホルダーのみなさまとのコミュニケーションを充実

社会のみなさまの声を事業活動に反映

広報・広聴活動を通じて、お客さまや社会のみなさまをはじめとするステークホルダーの方々への適時的確な情報発信をおこなうとともに、さまざまな機会を通じた「フェイストゥフェイス」によるコミュニケーションを実践することで、当社事業にご理解をいただけるよう努めています。

また、ステークホルダーの方々から頂戴したご意見やご要望については、データベース「ダンボの声」に掲載し、業務改善に役立てるなど、経営層や従業員と共有を図り、事業活動に反映させることで、みなさまからの信頼を賜ることができるよう努めています。



当社事業を紹介する
会社案内ムービー
『POWER MOVIE 2017』

[WEB](#) 『POWER MOVIE 2017』の詳細は…

関西電力 会社案内 動画



株主、投資家のみなさまへの情報発信

株主、投資家のみなさまへの公平で迅速な情報発信に努めています。国内や海外の機関投資家、個人投資家、公共団体など、多岐にわたるの方々に対し、さまざまな方法で情報を提供しています。社長による「会社説明会」や、社長を含めた役員による国内外の「投資家訪問」を定期的を実施し、経営者自らが積極的に投資家のみなさまと対話を図るとともに、資本市場の声を経営にフィードバックするなど、双方向のコミュニケーションに努めています。

また、当社事業の概要や経営目標、財務データなども、当社ホームページ等を通じ、適時的確に発信しています。



『IR情報』
(当社ホームページ: 随時更新)

[WEB](#) IR情報の詳細は…

関西電力 株主・投資家



報道機関への対応

テレビや新聞が報じる情報は、お客さまの当社に対するご理解やイメージを大きく左右します。そこで、定例社長会見をはじめ、報道機関への情報発信を積極的に実施するとともに、報道機関からの取材にも迅速かつ的確に対応し、当社事業への理解促進を図っています。



記者会見

マスメディアを通じた情報発信

当社グループの事業活動に関する情報をお客さまや社会のみなさまに適時的確にお伝えするため、さまざまなマスメディアを活用しています。

例えば、より多くのお客さまに対し、映像や音楽で分かりやすく情報をお伝えすることができるテレビCMや、比較的多くの情報をじっくりとご覧いただける新聞広告など、それぞれの媒体が持つ特長を活かした情報発信をおこなっています。

お客さまや社会のみなさまのお役に立つ情報を発信することで、当社事業への理解獲得を図っていきます。



新聞広告(2017年12月掲載)

Webを活用した情報発信

メディア環境の多様化を踏まえ、ソーシャルメディアの活用にも注力しています。Facebook、Twitterでは、安全・安定供給にかける当社従業員の姿など、現場第一線にフォーカスを当て、Instagramでは、「灯り=あたたかみ」をテーマに、積極的に取組みを展開しています。



Instagram

ホームページでは、第三者機関の評価なども参考に、より見やすく分かりやすいホームページをめざして改善を図り、シンプルなデザインへとリニューアルしました。同時に、当社の安全に対する姿勢や想いをベースに、さまざまなコンテンツを充実させることで、アクセス数の増加につなげてきました。

Web動画では、『くろよんーその手に未来をー』を公開しました。2018年が大町トンネル開通60周年にあたることから、くろよん建設にかけた関西電力の挑戦の姿勢を、ブランドステートメントである「power with heart」とともに、お届けできればと考えています。

今後もWebを活用し、より多くのお客さまとのコミュニケーションに努めていきます。



動画 『くろよんーその手に未来をー』

5 透明性の高い開かれた事業活動

エネルギーに関する理解活動

当社は、ステークホルダーの方々に、エネルギーへの理解を深めてもらうために、発電所見学会、出前教室、広報ツールの制作などに積極的に取り組んでいます。

発電所見学会では、2017年11月からVR(バーチャルリアリティ)を活用し、原子炉建屋内等を視覚的に体験することができるようになったほか、日本初の事業用水力発電所として歴史的にも価値のある蹴上発電所を一般公開するなど、新たな取り組みを進めています。

また、未来を担う子どもたちにエネルギーの重要性を伝えるため、当社従業員が講師として小・中学校に伺う「出前教室」も積極的に実施しています。

広報ツールについては、より多くの方にエネルギーへの興味を持っていただくことを目的として、エネルギー問題をコミカルに描いた漫画冊子を、漫画家のキノシタヒロシ氏や京都精華大学と共同制作しました。

当社は、引き続き、さまざまな機会を通じ、多様な方法で理解活動を展開することで、ステークホルダーのみなさまにエネルギーに関するご理解をいただけるよう努めていきます。



2018年3月から一般公開された蹴上発電所

原子力発電に関する当社の情報発信について

当社の原子力発電所における安全性・信頼性向上に向けた取り組みに関する情報を、ホームページ、新聞広告、広報誌などを通じてお伝えしています。

地域交流誌『越前若狭のふれあい』では、原子力や地域に関する情報を、福井県のみなさまにお届けしています。

今後も、原子力発電の信頼回復に向け、多様な方法で、積極的に情報を発信していきます。



越前若狭のふれあい

社内コミュニケーション

従業員一人ひとりが、「フェイストゥフェイス」のコミュニケーションを通じ、ステークホルダーの方々から信頼を賜れるよう、経営上の重要な情報や当社事業に関する情報を共有することで、従業員同士や職場間、グループ間のコミュニケーションの活性化に努めています。

1959年に創刊した社内報『関西電力新聞』では、経営情報などを詳細に解説し、重要な情報については、特集記事を組んでいます。また、経営計画などについては、社内テレビや社内ポータルサイトを活用して情報共有をおこなっています。



VRを活用した原子力発電所見学会

今後の方針

当社は、総合エネルギー事業者として、電気事業やガス事業などの事業活動や原子力発電にご理解をいただくため、「フェイストゥフェイス」によるコミュニケーションに加え、あらゆる媒体を通じてステークホルダーの方々への積極的な情報発信に努めています。

今後、2020年4月には送配電部門の法的分離が予定されるなど、当社を取り巻く環境はさらに大きく変化することが予想されますが、このような環境下だからこそ、引き続き、エネルギーの安全・安定供給を全うするための取り組みや原子力発電所における安全性向上に向けた取り組みについてあらゆる機会を通じて積極的な情報発信をおこなってまいります。

さらに、「power with heart」に込めた“まごころと熱意を込めたサービスで、お客さまや社会の『力』になりたい”との想いのもと、みなさまのご意見やご要望にしっかり耳を傾け、透明性の高い開かれた事業活動を継続することで、お客さまや社会のみなさまに選ばれ続ける企業グループをめざしてまいります。



関西電力株式会社
広報室長
松倉 克浩